

2025.12.8 社会学 (田中重人)

## 第7講「メディア」

1. 前回内容への補足
2. アーキテクチャ
3. 社会規範と市場
4. ネット社会におけるメディア
5. 次回までの宿題

# 【文化資本と不平等について】

戦後日本とはいわば「二重底社会」である。そのなかでも「努力すればナント力なる／努力してもしかたない」の二重底は特に重要な位置を占める。

佐藤俊樹 (2000) 『不平等社会日本』 中央公論新社 p. 10

# 【アーキテクチャとは】

レッシングによる、ヒトの行動の規制因:

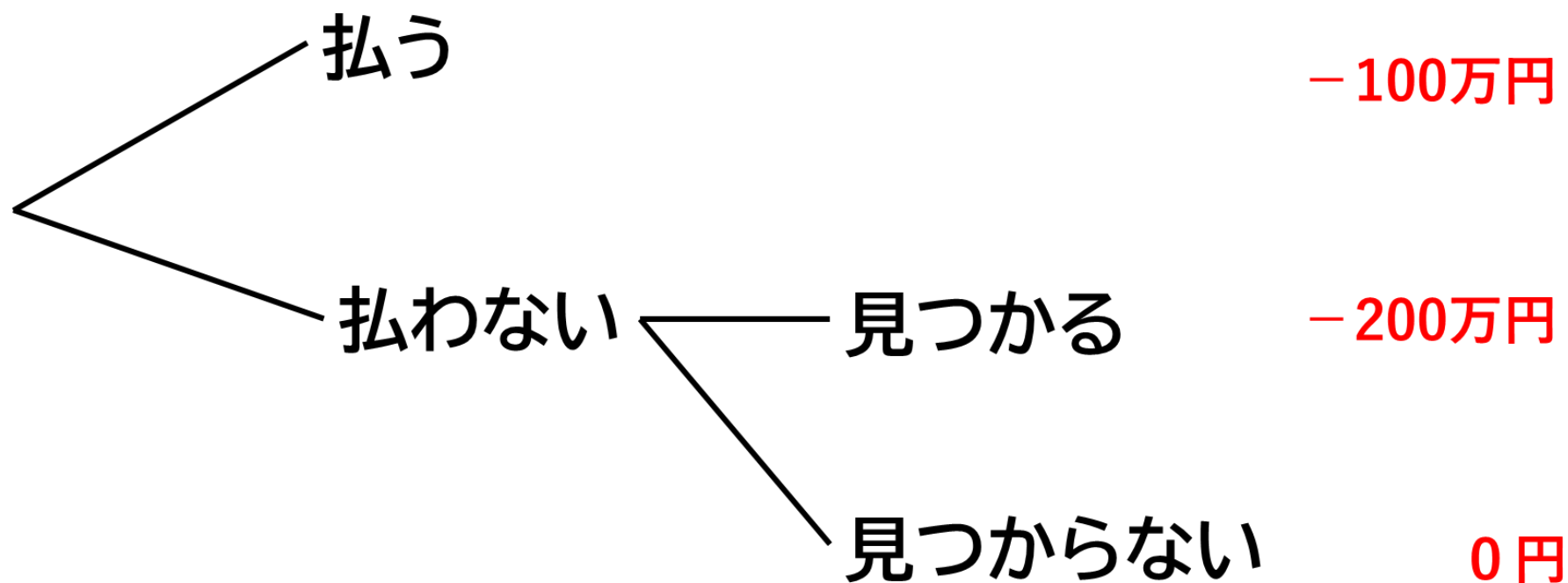
- 法 (law)
- 市場 (market)
- 社会規範 (social norms)
- **アーキテクチャ (architecture)**

教科書 p. 239

法制度，市場，社会規範の場合には，  
行為者が，罰則，費用便益，規範などを意識して行動するが，アーキテクチャの場合には，行為者はそうした意識なく，自動的に行動がコントロールされる

教科書 p. 241

# 納税に関する decision tree



アメリカの大手航空会社は、月曜早朝のフライトの乗客は預けた荷物が出てくるのが遅いと文句を言う人が多いことに気がついた。……航空会社は、このフライトの飛行機を手荷物受け取りからずっと遠くのゲートにつけるようにした。……苦情は減った。

Lawrence Lessig (2006=2007) 『CODE VERSION 2.0』  
(山形浩生 訳) 翔泳社 (Kindle 版) p. 252

# 【アーキテクチャの稼働条件】

- 情報の不完全性
- 独占（あるいは寡占）

# 【ラスウェルの 5 段階モデル】

- 発信者 → 統制研究
- コンテンツ → 内容研究
- チャンネル → メディア分析
- 受信者 → オーディエンス分析
- 効果 → 効果分析

教科書 p. 247



# 【ハイプ・マシン】

## Hype machine

機械の知能の推薦は、あえて情報を絞ることで、私たちの行動に大きな影響を与えている……私たちが何を読み、誰と友達になり、何を買い、誰を愛するかを、かなりの程度まで決めてしまうほどの影響力を持つ

Sinan Aral (2020=2022) 『デマの影響力：なぜデマは  
真実よりも速く、広く、力強く伝わるのか?』  
(夏目大 訳) ダイヤモンド社 (Kindle 版) p. 171

# 【次回までの宿題】

## 課題 8: 規範と社会統制

「フォークウェイズ」と「モーレス」の間にはどのような違いがあるか。また、現代日本社会において「モーレス」に該当する事柄にはどのようなものがあるか。教科書第2章および第5章を参考にして、説明せよ。